

受賞おめでとうございます (敬称略)

- 東京都功労者表彰(地域活動功労)
渡部 作次
- 東京都赤十字奉仕団功労表彰
◇銀色有功章(15年以上)
平林恵久子 堀切千恵子
- ◇金柁支部長感謝状(10年以上)
町田 俊貞 上原 祐子 平林千賀子 大瀧真理子
吉澤千穂美 飯田 京子 堅田 清子
- ◇銀柁支部長感謝状(5年以上)
今野 裕子 梁田 彰 入田加奈子 及川 美穂
高橋 明子 阿部 智子
- 東京都統計功労者表彰
吉田 一
- 大田区青少年対策地区委員会永年功労者表彰(10年以上)
平本 文子 藤田 美鈴 山口美由紀

美奈見の湯が保育園に!

本年3月末に惜しまれながら閉店した中央一丁目の「美奈見の湯」が、来年4月に私立認可保育園「美奈見こころ保育園」となることが決まりました。新井宿地区では3つ目の認可保育園になります。定員は50名。入園申し込みは12月7日までです。

また、美奈見こころ保育園では、他の2つの園では行っていない「定期利用保育」が利用できます。このサービスは、保護者の勤務が不規則な場合や、ご家族の介護や看護などのために保育が必要な場合に、その都合にあわせて預けたい曜日や時間が決められるものです(1~2歳児対象、定員6名)。こちらの申し込みは平成29年2月20日~3月3日まで。保育園へ直接申し込みとなります。

詳細は、大田区ホームページまたは大森生活福祉課、区役所保育サービス課にある「保育所申込手続き案内」をご覧ください。

*問合せ先 大田区役所 保育サービス課
保育利用支援(入園事務) ☎5744-1280

第4回「たき火で焼き芋」を開催

新井宿五丁目町会

今年もやります。皆様、ふるってご参加ください。

日時：12月11日(日) 12時~
場所：入新井第二小学校校庭(小雨決行)
後援：入新井第二小学校、校外委員、
雷親父(らいふ)倶楽部、雷親父OB会

編集後記

今号では、今年8月に新築移転した大森医師会館を特集しました。大森医師会は地域に根差し、地域の自治会町会とも連携しながら、有事の場合を想定した設備を整備し、地域の人々を守ってくれる頼もしい存在で、医療・福祉・文化のまち新井宿が更に安心・安全な住みよいまちになりました。

さて、本紙はお陰様で創刊以来、今号で70号となりました。大田区は来年3月に区制70周年を迎えます。いままで以上にこれからも地域力を向上させるような有益な記事を読者の皆様にお届けしていきたいと考えています。

(若生編集委員)

大森三中宿泊学校防災訓練

8月26日に大森第三中学校において、JRC(青少年赤十字)部に所属する中学生と教員と町会の防災担当者が、宿泊を伴う体験にチャレンジしました。山中校長の防災の心得についてのお話につき、災害ボランティア「縁(えにし)プロジェクト」の新倉氏から、三角巾の使い方や近年の災害の映像を使用した説明など、実践的で有意義なお話を聞きました。午後7時を過ぎて夕食の支度。アルファー化米を本番さながらに作り、ご飯だけの食事を全員でいただきました。さて、就寝。各教室が向かい合う廊下に断熱シートを敷き、まだ昼の暑さの残る中、消灯となりました。

この訓練には「わがまち新井宿」の編集委員も参加しましたが、最も感心したところは、中学生のテキパキした行動です。地域防災の担い手が高齢化する中、この子たちに任せられたら、と思いました。



▲三角巾を使った手当

地域一体での防災訓練実施

新井宿六丁目町会

10月23日(日)に入新井第四小学校で学校防災訓練を行いました。今年に入四小の児童と大森医師会が初めて参加しました。

訓練では、消火器の使い方、三角巾の使い方、AEDの操作法や簡易トイレの設置、煙体験などを行いました。6年生のAED体験では、小さな手で心肺蘇生法を真剣に学ぶ姿がたのしく、感心しました。



発行 地域力推進新井宿地区委員会

編集 「わがまち新井宿」編集委員会

- | | | |
|------------|--------|--------|
| 中央四丁目町会 | 編集委員長 | 若生 一順 |
| 山王三丁目自治会 | 副編集委員長 | 荒木 秀樹 |
| 中央一丁目町会 | 副編集委員長 | 齋藤 啓子 |
| 山王三・四丁目自治会 | 編集委員 | 三沢 清太郎 |
| 山王三丁目町会 | 編集委員 | 吉川 信一 |
| 新井宿五丁目町会 | 編集委員 | 加藤 弘子 |
| 新井宿六丁目町会 | 編集委員 | 松原 美枝子 |
| 新井宿七丁目町会 | 編集委員 | 落合 松枝 |

……共同編集……

監修 新井宿自治会連合会

事務局 大田区新井宿特別出張所

大田区中央1-21-6 ☎3776-5391

<http://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html>

わがまち Araijuku 新井宿



「黄金のノメイヨシ」
山王小6年
佐藤貴祐さんの作品
(墨絵)

大森医師会館 移転リニューアル!!

~地域に根差し、更なる医療・保健活動の充実を目指して~

大森医師会館は、平成28年8月に新施設へ移転しました。場所は新井宿会館の隣、障がい者総合サポートセンター「さぽーとぴあ」の向かいです。地上3階建ての会館は、一辺が空へ持ち上がったような外壁と片流れ屋根のデザインで、街並みと調和し、地域のランドマークとなる建物となりました。時期を合わせて区立新井宿児童公園もリニューアルされ、医師会館と公園が一体化したような景観を作り出しています。

震災など有事の際に、インフラが遮断された場合を想定し、自家発電設備、太陽光発電蓄電池設備、受水槽、電気自動車などの設備を備え、万が一の時も医師会の機能を持続させることができます。

また、24時間どなたでも使用が可能なAED(自動体外式除細動器)をエントランス前に設置しており、緊急時には誰でもお使



いただけます。

会館の1Fは、休日診療に訪れた人が安心して利用できる明るい診察室メインのフロア。2Fは、医師会事務室、訪問看護ステーション、大森医師協同組合、大・小2つの会議室を設置。3Fは、講演会や催事ができる「Orchid Hall」等があります。

業務の内容については、2・3面で詳しくご紹介します。



一般社団法人 大森医師会

〒143-0024

大田区中央4-31-14

TEL 03-3772-2402

FAX 03-3777-7622

<http://www.omori-med.or.jp>

❄️ 休日診療・土曜準夜診療

大森医師会では、日曜・祝日および年末年始(12/29～1/3)・土曜準夜に医師会診療所(1階のフロア)で内科・小児科の救急診療を行っています。

毎週日曜日には外科系の救急診療も実施しています。新会館ではレントゲン室も増設されました。「切った」、「ぶつけた」、「擦りむいた」、「やけどした」等で心配な場合はぜひ受診してみてください。また、より高度の治療が必要な場合は、近隣の病院への紹介等の対応ができます。

受診される方は必ず健康保険証をお持ちください。乳幼児医療受給者証や各種医療証をお持ちの方は、同時にご持参ください。



受診される時には事前にお電話をしてください(☎3772-2402)。終了時刻の30分前に受付は終了になります。

《内科・小児科》 土曜日：17～22時
日曜・祝日：9～22時
年末年始

《整形外科・外科》 日曜日：9～17時



▲診察室



▲待合室

大森医師会のしごと

このページでは、大森医師会がどのような業務を行っているのかをご紹介します。

❄️ 検(健)診事業(大田区委託事業)

区の委託により各種検診事業および健診事業を実施しています。実施期間中、かかりつけの医療機関やステッカーのある指定医療機関でご相談ください。

本年度から、認知症検診が開始されました。自己負担なしで受診ができます。検診期間は7月1日～12月31日、対象は受診年度の誕生日における年齢が65歳から84歳までの方(平成28年度現在)です。

すすんで検診を受けて、早期発見・早期治療につとめましょう。



❄️ 予防接種(大田区委託事業)

区の委託により、乳幼児から高齢者まで、各種予防接種を実施しています。また、19歳から49歳までの妊娠予定の女性は、無料で風しんの抗体検査や予防接種が受けられます(要件あり・要確認)。なお、19歳から49歳までのパートナの男性も抗体検査は無料で受けられます。詳細は大田区ホームページをご覧ください。かかりつけの医療機関でご相談ください。



❄️ 災害救急

発災直後からおおよそ72時間までを目安に緊急医療救護所を開設するなど、災害時においても医師会は重要な役割を担っています。大田区災害医療計画策定に医療側として参画するなど、区と連携し、平常時から“もしも”に備える活動を行っています。

❄️ 訪問看護ステーション

社団法人大森医師会立訪問看護ステーションとして、平成8年に設立されました。医療機関、ケアマネージャー等を通して、訪問看護の依頼のあったご家庭を訪問し、病状の観察、医師の指示による医療処置、在宅のお看取り、床



ずれ処置やリハビリ、介護方法の相談や援助を行っています。

病気や障がいを持った方々が、住み慣れた家で、在宅生活が送れるよう医師や関係機関と連携し、支援しています。

❄️ 地域包括支援センター

(愛称「さわやかサポート」)

大田区には21ヶ所の「地域包括支援センター」が設置されています。介護予防の中核拠点として、地域にお住まいの、おおむね65歳以上の高齢者やそのご家族から介護・福祉に関する総合的な相談に応じ、在宅で介護を必要とする高齢者が適切な保健福祉サービスを受けられるよう支援・調整してまいります。

新井宿地区の担当は「さわやかサポート新井宿(大森医師会)」です。今年8月に新井宿特別出張所2階に移転しました。前回の「わがまち新井宿(平成28年8月1日発行の第69号)」の一面に記事が載っています。

❄️ 大田地域産業保健センター

従業員が50人未満の小規模事業所を対象に、労働衛生管理の充実を目指して産業保健サービスを行っています。都内第一号の設置で、大田区全体を担当しています。

~~~~~ お知らせ ~~~~~

4/1号ですすでにお知らせしていますが、大田区が区制70周年を迎えるにあたり、新井宿特別出張所では、新井宿の昔を振り返り、今を見つめる「写真展」を来年3月に開催します。大田区ができた昭和22年頃から現在までの新井宿地区で撮影された写真を大募集します。詳細は新井宿特別出張所までお問い合わせください。